

福祉の和の大切さ 一堂に会し

10月23日(金) 総合文化センタ
「パルナス」で初めての「中



泊町社会福祉大会」が開かれま
した。

「向こう三軒両隣」助け合い
の心で育てよう福祉の和」をス
ローガンに、社会福祉協議会が
主催して行われ、町の社会福祉
についての再認識と盛り上げを
図るため、合併後初めて行われ
たものです。

大会では、式典や講演、アト
ラクションが行われ、大会長の

加藤社会福祉協議会長が、「地
域の社会福祉、輪が大事になっ
てきている。2回、3回と続け
て、社会福祉を盛り上げていき
たい。」とあいさつ。

そのほか社会福祉に貢献した
8団体39個人に対し、表彰が行
われました。
大会に集まった約500人の
聴衆は、社会福祉の大切さをか
みしめるとともに、アトラクシ
ョンなどで楽しみました。

元気でいきいき
88歳夫婦と100歳長寿を顕彰

11月2日(月)、県
知事および内閣府か
ら、88歳夫婦と100
歳長寿の顕彰を受け、
町長が伝達しました。

88歳夫婦の県知
事顕彰を受けたのは、

伊東巳之吉さん(95)、ヨネさん(89)夫妻。お2人
は見合い結婚で、当時は船でお嫁に行ったそうです。

表彰を受けた2人は、「長生きした甲斐があった。
今でも山に出かけて健康を維持している。死ぬまで
生きるよ!」と元気に答えていました。

また、葛西たきさん(100)は100歳長寿のお祝いで、
内閣府と県知事からの顕彰を受けました。たきさん
は、若い時分に陸上の選手として活躍し、稲垣で負
けなしだったそう。17歳の時お嫁にきたそうです。

会ったたきさんは、写真のとおり(写真中)100歳
とは思えないほど元気そのもの。ほとんど病気がし
ない病気はしていな
いそうで、「今でも
畑の草を取ってい
る。よく食べ、よく
寝るのが長寿の秘
訣。」と、しっかり
述べていました。

町のごみ収集車が
新しくなりました

町のごみ収集車が新しくなったのを
ご存じですか?

これは、「原子燃料サイクル事業推
進特別対策事業」の一環で、老朽化し
た収集車を一新しました。

新しい収集車には側面に広告スペ
スが設けられ、「もったいない運動」
の普及に役立っています。



早朝のマラソン

継続にがんばり

薄市小学校では、例年「早朝
マラソン」を行っており、その
表彰式が11月5日(木)に同体育
館で行われました。

37人の参加者のうち、15回す
べて参加した皆勤賞が27人、1
回だけ休んだ精勤賞が5人と、
皆さんががんばった様子がよく
わかります。

さらには、6年間1度も休ま
なかった特別賞も2人あり、特
別に表彰されました。

特別賞を受けた小林静花さん
は、「熱が出ても行った。行き
たくないときもあったが、5、
6年になったら苦にならなくな
った。」といい、もう1人の福



士健太くんは、「たまには出る
のがいやなときもあったが、続
けるのが大事だと思い、特別賞
目指してがんばった。」と、6
年間の軌跡を語っていました。

中里高校 公開授業

地域の高校を 知ってもらうために

中里高校では、地域との結びつき強化や、保護者に学校のことを知ってもらうため、5日間に行われた公開授業を行いました。最終日の11月11日(水)、高校では1年生の授業が公開され、国語と英語の授業が行われていました。

国語では「徒然草」を題材にした古文、英語では現在完了形の勉強を行っていましたが、公開されているせいか、授業を受ける生徒も少し緊張気味。ただ、中学校の先生が卒業生の肩をたたくなど、公開授業ならではの雰囲気も感じました。



授業を見ていた小泊中の先生は、「英語の授業などで習熟度別にクラスを分けるなど、丁寧にがんばってやっているのが印象的。」と、高校の取り組みに興味を抱いている様子でした。

おしごとお疲れさま 中里幼稚園児が 職場を訪問

職場を訪問

中里幼稚園のちびっこたちが、「毎日のお仕事お疲れ様です。」と役場を訪れ、町長におもちやカレンダー、お花などをプレゼントしました。

毎年、もちつき会の日に合わせて町内の事業所を慰問していますが、今年は9か所を回るそうです。

プレゼントの後は、自慢のピアノ演奏も披露。役場内から上手な演奏に大きな拍手がわき起こっていました。

演奏後は町長からも園児たちにプレゼント。園児、町長とも笑顔が絶えないイベントでした。

ハロウィーンを マッシー先生と

11月8日(日)、日本海漁火センターホールで、小泊地区子ども会によるハロウィーンパーティーが開催され、約40人の子どもたちが仮装コンテストやゲームを楽しみました。

ハロウィーン伝説のお話では、今年7月から小泊中にALTとして赴任した、トレヴァー・マッシー先生(アメリカ出身)が分かりやすく日本語でハロウィーンの由来を教え、参加者を楽しませました。

仮装コンテストでは、参加者が自宅で作ってきた死神・ピエロ・魔法使いなどに扮して会場をにぎわせ、仮装コンテストの



最優秀賞には死神に扮した鈴木稔生くん(小泊小2年)が選ばれました。

そのほか、パンピング料理を味わったり、ジャンケンゲームでお菓子をゲットしたりと、参加した子どもたちはとても感激した様子でした。

縁の下の人

交通指導隊中里支隊分隊長

宮崎和雄さん(65)

昭和54年4月に交通指導隊員となって以来、30年間の長きにわたり、町の様々な行事にボランティアとして参加。町民の安全を守るために街頭へ立ち続けてきました。

これまで、優秀特別精勤賞、緑十字銅賞など様々な表彰を受けてきた宮崎さん。「自分で思うところがあり、交通指導隊に入った。そのせいか、自分の子どもたちに法令遵守の心が身についている。仕事と折り合いをつけながら、朝がだめでも夕方に出るなどしてがんばってきた。」といひます。一番うれしいのは、毎朝登校する子どもたちとあいさつすることだそうで、「これからも交通指導隊の



活動を続けていきたい。この活動に定年はないからね。」と笑っていた宮崎さんでした。



自慢の漬物で町おこし

11月3日(火)、2回目となる「津鉄大沢内駅舎漬物まつり」が行われ、漬物作りの実演や体験にでぎわいました。

駅待合室を利用した漬物体験は、午前と午後にそれぞれ5組が挑戦しました。

会場では、おでん、いかめし、おからドーナツ、けの汁などを販売。さらに、津軽鉄道サポーターズクラブが餅つきをし、駅奥座敷ではお茶や漬物試食でくつろぎました。



静和園だより

慰問

・「小泊地区婦人会」代表 秋元英子
会員12名で来園。歌謡、創作舞踊などを1時間にわたり披露してくれました。



・「五所川原甚句保存会」
代表 山本永悦
会員15名で来園。三味線、創作舞踊などを1時間にわたり披露してくれました。



公立金木病院から

中泊町大字小泊字浜野26

横野 良 孝 様

病院運営の一助にと、現金20万円を寄附いただきました。本当にありがとうございました。

「お詫びと訂正」

先月号で「児童の力作、一同に」と題してMOA美術館中泊児童作品展の入賞者を紹介しましたが、一部お名前を間違えて掲載してしまいました。お詫びして訂正させていただきます。

(誤) 磯野 梅吏
(正) 磯野 海吏



**米塚義定杯争奪
柔道大会開催**
10月25日(日)、町体育センターで15回目となる「米塚義定杯争奪柔道大会」が行われました。団体、個人とも熱戦が繰り広

げられ、館内には気合いの入った声が響き渡っていました。町の上位入賞者は次のとおりです。

〈団体戦〉

小学校団体3位 中里誠心塾

〈個人戦—小学校〉

1年生男子2位 葛西大悟(中里誠心塾)／6年生男子1位

奈良翔太(中里誠心塾)／6年生男子3位

今 健瑠(中里誠心塾)／6年生男子3位

珍田 拓(中里誠心塾)／1・2年生女子

3位 野上莉来奈(中里誠心塾)／3・4年生女子3位

葛西芳枝(中里誠心塾)

〈個人戦—中学校〉

3年生男子1位 沢田大稀(中里中学校)／3年生男子2位

鈴木 佑成(中里中学校)／3年生男子3位

坂田直也(中里中学校)／3

年女子2位 鈴木百合香(中里中学校)
〈米塚賞受賞〉
奈良翔太(中里誠心塾)

津軽大橋で 道路診断

11月19日(木)、10月30日深夜に津軽大橋で発生した車両単独による交通死亡事故に関して、道路診断を行いました。

五所川原警察署、西北地域県民局地域整備部(道路管理)、五所川原地区交通安全協会、交通指導隊、役場総務課、建設課が集まり、今後の対策について現場を確認しながら意見を出し合いました。緊急の対応策として、橋手前



の道路に、スピードの抑制効果がある横断線を引くことと、「スピード落とし」の看板を設置することを申し合わせ、二度とこのような事故が起きないように関係者が誓いを新たにしています。

陸上自衛隊 高等工科学校生徒募集

▽応募資格

・平成22年4月1日現在、15歳以上17歳未満(男子)

・平成22年3月中学校卒業予定者(平成5年4月2日～平成7年4月1日までの間に生まれた方)

▽受付期間

平成21年11月1日(日)～平成22年1月8日(金)

▽試験日

1次試験 平成22年1月23日(土)
2次試験 1次試験合格者のみ

▽試験場所

千年交流センター 弘前

▽お問合せ先

自衛隊五所川原地域事務所

☎(35)2305